

附属保育園での見学実習

「保育の発達心理学」の授業の一コマを紹介します



学生の感想
最初は心を
開いてくれるか
恐る恐るだった
けど、子どもた
ちのほうからた
くさん話しかけ
てくれて、仲良
くなれた。

もっと子どもとふれあっていたい、と声を上げた学生のひとり

1年生 保育幼児教育コースの学生が、「保育の発達心理学」の授業の中で、見学実習に参加しました。保育園で生活し活動する子どもたちの姿にふれ、幼児に対する関心をもち、これから学ぶ発達の理論的な学修につなげることが目的です。



子どもの姿
すべてが
かわいくて
愛おしく
なった。

手にしたどんぐりをじっと見つめ続ける1歳児



2歳児と手遊びをする保育士(卒業生)と学生

子どもに応答しながら遊びを観察・参加する学生たち



学生の感想

保育士として働く方たちを近くで見ることで、目標が明確になり、保育士になりたいという気持ちが増した。



保護者と別れて大泣きだった3歳児。手遊び歌であらら・・・学生の自己紹介に真剣なまなざし



リズム体操をする4歳児と学生。子どもの「うさぎ」(写真中)は、学生には真似ができません。



子ども一人一人、それぞれ違う価値観や自分の世界を持っていて、自分だったら思いつかないようなことをしていて、子どもって凄いなと思った。



5歳児のサッカーの上手さに感心